

第1回定例会  
3月議会

## 明石市犯罪被害者等の支援に関する条例

### 改正案を全会一致で可決

#### さらなる支援の充実を

第1回定例会3月議会が2月20日から3月23日まで開かれました。平成30年度当初予算や明石市犯罪被害者等の支援に関する条例の一部を改正する条例、(仮称)明石こどもセンター新築(建築)工事請負契約など、議案53件を可決・同意、報告8件を了承しました。

3月23日の本会議では、明石市犯罪被害者等の支援に関する条例の一部改正案を全会一致で可決しました。

条例改正の目的は、代替支援金の支給対象者を拡大するほか、再提訴等にかかる費用の補助など、犯罪被害者等の視点に立ったさらなる支援を実施するものです。

改正の概要としては、基本理念に犯罪被害者等のプライバシーや心理状

態、被害者家族などにも配慮するといった支援の在り方を追加します。また同時に、真相究明の支援として、犯人逮捕に関する情報提供を公衆に呼びかける活動をする場合に必要なら作成などの費用の補助等を行うことや裁判手続き参加に必要な旅費補助の拡充、損害賠償請求権の消滅時効を

中断させるため、再提訴する際に裁判所へ支払う印紙代や郵便代の補助、立替支援金の支給対象に性犯罪被害および1カ月以上の重傷病被害を加えるといったものです。審査を行った総務常任委員会では、委員から平成26年にも条例改正を行ったが、基本理念をはじめ、たびたび条例を改正するのはいかがなものかとの意見がありました。市からは、犯罪被害者等を取り巻く環境は依然として厳しく、犯罪被害者や弁護士等で構成する有識者意見交換会での意見を参考に、さらなる支援策を検討した結果、改正を行うものであるとの答弁がありました。



有識者意見交換会

### 市役所の建て替え 候補地は3か所 分散配置案も検討

市議会では、市役所新庁舎整備の方向性、機能や整備場所等について、昨年5月に新庁舎整備検討特別委員会を設置し、議論を行っています。

これまで、4回の特別委員会や有識者会議での意見から、整備の方向性は、現庁舎の大規模改修ではなく建て替えとし、建設場所は、現在地、明

石駅周辺、大久保のJ-T跡地での単独配置に加え、明石駅周辺とJ-T跡地2カ所での分散配置という計4つの案に絞り込みました。

3月9日の特別委員会では、委員から、現在地については県が進める明石港東外港地区再開発と合わせ、明石らしさを生かした開発とすべきとの意見のほか、明石駅周辺は自動車によるアクセスや駐車場確保に課題がある、J-T跡地は南海トラフ地震の発生時には防災拠点にもできる、庁内部署間の連携を考えると単独配置が望ましいが、困難であれば分散配置もやむを得ない、市の目指す新庁舎整備のビジョンを明確に示すべき等の意

見がありました。市は今後、市民サービスや業務体制の在り方について将来像を示し、防災をはじめとした市役所の機能を具体的に整理していくとともに、それぞれの整備案について、具体的な建設場所や庁舎の規模など複数の案を示し、引き続き議論を行っていく方針です。



老朽化が進む市役所庁舎



あかし市民図書館の開館1周年を記念して、あかし市民広場で開催されたイベントの様子。「ビブリオバトル」では、小中学生ら5人がお薦めの本を紹介し、みんなが読みたいと思った本に投票を行いました。「BOOKマルシェ」では、市民が古本を持ち寄り、1日店主として販売しました。

もくじ

- 2 会派を代表して4人が市政を問う 代表質問
- 3 やさしい中核市・明石へ 平成30年度当初予算
- 3 若者の視点で明石を考える 高校生議会

- 4 市政を問う 12人が登壇 一般質問・質疑
- 5 新たな一歩を踏み出しました 明石市 中核市へ
- 6 可決した議案の一部を紹介 決まりました

- 6 平成29年の市議会の活動 会期・議決事項件数
- 7 テーマごとに意見交換 議会報告会を開催
- 8 各議員の議案に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧



市議会だよりを  
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要です。

